

新たな災害情報システムの導入について

1 概要

昨今の頻発化・激甚化する自然災害に備え、災害情報の収集・分析及び発信等の一連の業務を迅速かつ効率的に行うことができるよう、新たな災害情報システム（以下「システム」という。）を導入する。

2 主な機能

(1) 災害対策本部業務支援

避難指示等の発令に必要な情報をシステムで収集・集約し、発令理由に応じて、漏れなく確実に危険な地域に対して避難指示等を発令する。また、区内の被害状況や避難所の開設・混雑状況等を視覚的に分かりやすく表示することにより、災害対策本部の意思決定を支援する。

(2) 各種広報媒体への一斉配信及び各種 SNS との連携

「文の京」安心・防災メールや各種 SNS 等への一斉配信機能を活用し、迅速かつ的確な情報発信を行う。また、AI 技術を活用し、各種 SNS から被害情報を自動で収集するとともに、情報の真偽を判断する。

(3) 他団体等との連携

東京都災害情報システム等との連携により、各種報告業務の効率化を図る。また、公共機関（鉄道、ライフライン）等からの必要な情報を自動収集する。

(4) 職員参集システム

災害時に、職員参集システムから区職員のスマートフォン等へ、安否状況や参集可否を回答があるまで自動配信する。災害対策本部では、自動集計された回答を基に、適切な人員配置を行う。

(5) 文京区防災ポータル及び文京区防災アプリによる情報発信

文京区防災ポータルを開設し、避難情報や被害情報、公共機関・ライフライン情報等を掲載する。また、文京区防災アプリにより、災害に関する必要な情報等をプッシュ通知でお知らせする。

(6) 区民等からの情報収集

文京区防災アプリ等を活用し、区民等が被害情報を提供できる機能を設ける。平常時においては、道路の損傷や公園施設の破損等の報告ができる機能として活用する。

3 稼働開始日

令和4年4月1日

4 区民への周知方法

区報、ホームページ、Facebook、Twitter、区設掲示板等

5 システムイメージ図

別紙のとおり

6 今後のスケジュール (予定)

令和4年 2月	災害対策調査特別委員会報告
3月～	区報等周知
3月末	文京区防災ホームページ(現行)閉鎖
4月	文京区防災ポータル及び文京区防災アプリ開設、システム稼働

災害情報システムイメージ

